

# ツキノワグマのエサ資源調査結果について

例年8月中下旬にかけて、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を調査することにより、ツキノワグマの出没傾向を予想している。

## 1 調査内容

### ・調査箇所

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された主な8市町内の地点

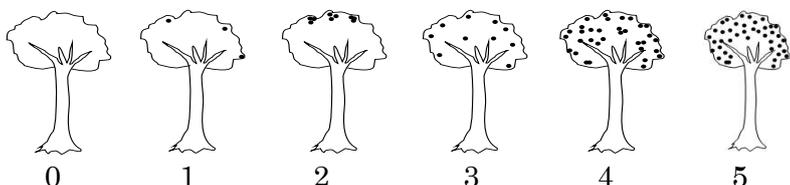
（中能登町・宝達志水町・津幡町・金沢市・白山市・能美市・小松市・加賀市）

### ・調査方法

各調査地点のブナ、ミズナラ、コナラの実の着果の度合を樹木一本ごとに6段階で評価する着果度を調査。着果度の平均値をもって各調査地点の豊凶を判定し、全調査地点の平均値により全体の豊凶を判定

（評価方法）

着果度	状況
0	着果なし
1	一部の枝に粗に着果
2	一部の枝に密に着果
3	樹冠全体に粗に着果
4	樹冠全体に密に着果
5	非常に密に着果



（※各調査地点の調査本数：10～20本）

## 2 調査結果

樹種	総合予測	全体の着果度平均値	調査地点	内 訳				
				大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	凶作（豊作）	0.24 (2.12)	23カ所(21ヶ所)	11(0)	12(7)	0(5)	0(4)	0(5)
ミズナラ	凶作（豊作）	0.72 (2.58)	22カ所(19ヶ所)	5(1)	11(1)	5(4)	1(4)	0(9)
コナラ	並作（並作）	1.83 (1.83)	23カ所(28ヶ所)	0(0)	9(9)	5(9)	7(6)	2(4)

※（ ）内は、昨年状況

（着果度調査の判定基準表）

樹種	大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	0.1未満	0.1～1.0未満	1.0～2.0未満	2.0～3.0未満	3.0～
ミズナラ					
コナラ					

※着果度の平均

## 3 着果状況における豊凶結果

区分	各年度の着果状況における豊凶結果											
	H16※	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
ブナ	×	◎	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	◎	▲
ミズナラ	×	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	▲
コナラ	×	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○
目撃件数	1006 (112)	58 (43)	353 (78)	60 (40)	126 (83)	147 (123)	256 (149)	195 (140)	246 (180)	200 (158)	178 (146)	— (208)

凡 例	
大 豊 作	◎◎
大 豊 作	◎
並 作	○
凶 作	▲
大 凶 作	×

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※（ ）内は8月末時点の目撃件数



ブナの果実



ミズナラの果実



コナラの果実